



新潟市口腔保健福祉センター <http://ii-ha.net/k-center/>



まだまだ暑さが続くことが予想されているようです。
油断することなく熱中症対策を心がけましょう

自閉スペクトラム症児の歯磨きについて

自閉スペクトラム症の診断基準¹⁾のひとつに「感覚刺激に対する過敏さまたは鈍感さ、または環境の感覚的側面に対する並外れた興味」が挙げられています。感覚刺激に対する過敏さ・鈍感さは、歯磨きの時や歯科受診時にも問題になることがあります。今回は、歯磨きに関することをご紹介します。

■触られることに対する過敏

口を触られると、力が入り拒否反応を示すことがあります。

いきなり歯ブラシを入れるのではなく、
少しずつ過敏を除去していきます。

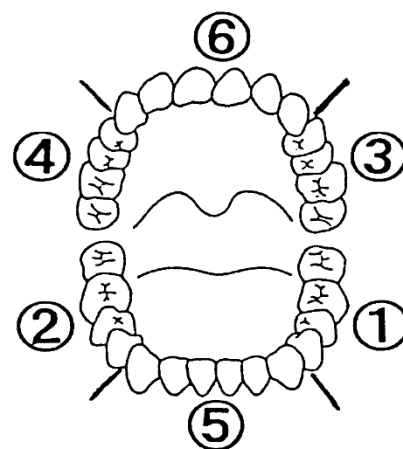
手のひらで頬を触る

→手のひらで口の周りを触る

→指の腹で歯ぐきを触る（前歯は敏感なので奥歯から↑）

過敏を和らげていくことを脱感作といいます。過敏が和らいだところで、歯ブラシをお口の中に入れてみます。

脱感作は毎日行くと効果的です。



■味覚、嗅覚の過敏

歯磨き粉の味や臭いに過敏なお子さんがいます。そのような場合は、歯磨きが嫌いにならないよう、まずは歯磨き粉をつけずに、歯磨きの習慣をつけていきましょう。